昭和24年12月27日第3種郵便物認可

日刊産業新聞ホームページ
http://www.japanmetal.com/
E-mail sangyo@sangyo.co.jp
携帯サイト QRコード
http://www.japanmetal.com/m/

発行所　産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川1－16－14
TEL 03(5566)8770㈹　FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区靭本町1－5－15
TEL 06(6443)8551㈹　FAX 06(6443)3828
アジア総局 上海市楼山関路85号 東方国際大厦C座1604室
上海支局 TEL 86-21-6278-7750　FAX 86-21-6278-7751

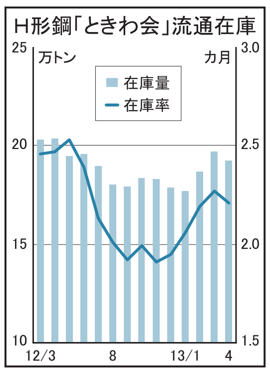
日刊 産業新聞
Japan Metal Bulletin

2013年(平成25年)
5月17日(金)
第18254号
Since 1936

日刊(土・日・祝日除く)
©産業新聞社2013年

品質で選べば
朝日フェンス
朝日スチール工業株式会社
本　社　高松市花園町1丁目2番29号　TEL 087-833-5151
支　社　東京3239-4815／支店 大阪6244-1910・福岡471-7621
事務所　仙台355-2521

ときわ会 H形在庫
3カ月ぶり減も「過剰」
4月末19.2万トン なお地域に差



新日鉄住金によると、形鋼扱い流通で構成する「ときわ会」の4月末のH形鋼流通在庫は、19万2300トンと前月末比2・2%減少した。3カ月ぶりに減少したが、在庫率は2・21カ月と「過剰水準」(建材営業部)。地域間で差があり「特に大阪地区での在庫過剰状態」(同)という。入庫量の減少の要因が大きく、流通は発注量を抑制していることから、今後も在庫の減少が続きそうだ。

一部メーカーのトラブルによる生産減少もあり、入庫量は8万2700トンと前月比14・3%減少した。出庫量は8万7100トンと0・5%増となり、「全国的な荷動きは堅調な水準」(同)が継続している。

鉄骨需要について、超高層案件などの物件の大型化により、12年度の実際の需要レベルは460万トンと10万トン上方修正したうえ、13年度は480万トンと想定する。需要を見極めたうえで、「地区ごとに出庫水準を定量的、かつ冷静に判断すること」(同)をマーケットに求めた。

東京、大阪、名古屋3地区の4月末在庫量は11万9400トンと3・7%減。東京は5・1%減、名古屋は7・7%減だったが、大阪は0・7%減にとどまった。3地区合計の入庫量は4万8400トンと前月比20・1%減、出庫量は5万3000トンと1・3%減。在庫率は2・25カ月と0・06ポイント下がった。

札幌、東北、新潟、富山、静岡、四国、中国、九州8地区の4月末在庫量は7万2900トンと0・3%増。入庫量は3万4300トンと4・5%減、出庫量は3万4100トンと3・3%増。在庫率は2・14カ月と0・06ポイント下落した。

新日鉄住金 5月契も据え置き

新日鉄住金は、5月契約6月ロール分の販売価格を前月比で据え置く。3月契約分で5000円値上げしたが、想定している市況水準に到達していないとして、次月以降の価格改定実施を目指すため、マーケット環境整備に注力する。

メーカーは円安進行などによるコストアップで、値上げをしなければ「事業継続が難しい」(建材営業部)状況になっている。そのため、値上げ時期については「メーカーから動く可能性もある」(同)として、市況の上昇を待たずに、値上げを実施する可能性も示唆する。

引き受けも必要最小限にとどめる方針で、君津製鉄所の大形形鋼ラインのシフトダウンを継続するほか、堺製鉄所の大形形鋼ラインでは定期修理を予定しており、需給を引き締める考え。

鋼材加工センター(型鋼、鋼管、非鉄)
3次元レーザー加工
試作から量産品まで短納期対応
12Mまで加工可能
麻布成形株式会社
ISO9001/14001 認証取得
TEL 047-354-8211
http://www.az-azabu.com

日鉄住金スチール 店売りH形鋼 5契据え置き

日鉄住金スチールは16日、5月契約(6月ロール)の店売りH形鋼価格を据え置くと発表した。本年度需要は昨年度を上回る方向にあり、足元の流通の出庫も好調ながら、在庫は依然として過剰ぎみ。市況も足踏み状態となっていることから、据え置きを決めた。

ただ、今年度は損益改善が必須課題となっているため、在庫調整を見極めたうえで、製品値上げ実施を検討する。5―6月生産については、4割程度の減産を継続する。

伯CSN 1―3月純利益 94%減の1632万レアル

伯鉄鋼大手のCSNが15日発表した1―3月決算によると、純利益は1632万レアル(約7億5900万円)と昨年10―12月比94・8%減った。鉄鋼、鉱業ともに減益だったため、金利・税・償却前の利益(EBITDA)は9億2000万レアルと26・2%減った。

鉄鋼事業の1―3月のEBITDAは5億2800万レアルと、10―12月比6・4%減った。鋼材販売は155万トンと2・9%伸び、平均単価はトン1867レアルと1・0%上がったが、コスト増が響いた。

鉱業の1―3月のEBITDAは3億2600万レアルと、10―12月比43・0%減った。鉄鉱石販売が410万トンと36・2%減った。

金属春秋
2013.5.17

日本政府主導でアフリカ関連の資源会合が都内で開催中だ。来月に控えた首脳級のアフリカ開発会議(TICAD)を前に、アフリカ各国の資源担当大臣の会合とともに、資源会社などを巻き込んで初の国際資源会議を開く。新興国の需要拡大で資源の価値が高まる中、資源国と関係を強化し、資源の安定確保や日本企業の事業機会に結びつける狙いがある▼アフリカには、鉄鉱石や銅など未開発資源が豊富。とりわけサハラ砂漠以南では、戦争などで政府が安定せず、外資にとっても投資環境が整わないため、息の長い取り組みがいる資源開発が進まなかった。安定的な経済発展から取り残されたため、貧困層も多いが、それだけに成長の潜在性は高い▼カネを出して資源を確保するばかりではなく、環境を含めて高い日本の技術力を生かし、相手国の持続的発展のために人材育成や産業育成に知恵を貸すなど、互恵的な発展を目指す。欧米でも他のアジア諸国でもなく、日本と組んで経済開発する意義を認めてもらえるよう、息の長い取り組みが必要だ。

自動車向け小径電縫管
中国浙江に製造合弁
JFES 月産能力2000トン

JFEスチールは16日、川崎鋼管、伊藤忠丸紅鉄鋼、萱華工業股份有限公司(本社＝台湾台南市、曹永文董事長)の3社と合弁で、中国浙江省に自動車向けの小径電縫溶接鋼管や、冷間引抜鋼管の製造・販売を手掛ける「嘉興JFE精密鋼管有限公司」を10月に設立すると発表した。小径電縫管では初の海外合弁会社となる。高品質製品を現地で生産・販売することで、自動車用部品メーカーの現地調達ニーズに応える。生産開始は2015年1月の予定で、生産能力は月間約2000トン。

新会社は浙江省嘉興経済技術開発区内に位置する。資本金は9600万元で、出資比率はJFE36%、川崎鋼管15%、伊藤忠丸紅鉄鋼10%、伊藤忠丸紅香港20%、萱華工業19%。投資規模は約32億円。従業員数は約100人の予定。代表者はJFEグループから派遣する。役員は5人を予定し、JFEグループから3人、伊藤忠丸紅から1人、萱華工業から1人。

日系自動車部品メーカー向けに、自動車部品用や建機用を中心とした小径電縫溶接鋼管や冷間引抜鋼管を製造・販売する。製造サイズは外径17・3―42・7ミリ。月産2000トンのうち50%が引抜加工される。

工場敷地面積は約2万5000平方メートル。着工時期は計画中で完工は14年9月の予定。主要設備は電縫溶接鋼管造管設備、冷間引抜設備、熱処理設備(光輝焼鈍炉など)。母材となる鋼板は当面、JFEスチール製の熱延鋼板を使用する。伊藤忠丸紅鉄鋼のコイルセンター「嘉興紅忠鋼板加工有限公司」に隣接しており、同拠点で鋼板をスリットする。

合弁会社が設立される華東地区は自動車用部品メーカーが集中している。現地の自動車生産台数は、今後も堅調な伸びが期待され、自動車用鋼管の需要もますます増えていくことが見込まれている。JFEとグループである川崎鋼管の小径電縫溶接鋼管製造に関する技術力や、萱華工業の冷間引抜鋼管製造に関する技術力、伊藤忠丸紅鉄鋼の販売力を生かす。

なお、萱華工業股份は、鋼管の冷間引き抜き加工を手掛けている。資本金は約5億円、売上高は約50億円、社員数は約200人(3月末時点)。JFEの子会社であるリバースチールが5%出資している。設備は冷間引抜など。

輸入材 岸壁在庫 阪和興業 4月末
2カ月連続増12.7万トン
円安で入着低水準

阪和興業は16日、4月末の輸入材岸壁在庫をまとめ発表した。それによると、全体で12万7000トンと前月比8000トン(6・7%)増で、増加は2カ月連続。ただ、前年同月比では2万1000トン(14・1%)減。入着は為替の円安で低水準だったが、引き取りもさえないことから、前月比で増加した。

地区別の状況は、大阪は7万8000トンと前月比5000トン(6・8%)増。品種別では厚板が2000トンと1000トン(100%)増、熱延コイルが2万1000トンと1000トン(5%)増、冷延コイルが5万5000トンと3000トン(5・7%)増。

東京地区は全体で4万9000トンと3000トン(6・5%)増。品種別では厚板が8000トンと1000トン(14・2%)増、熱延コイルが2万トンと横ばい、冷延コイルが2万1000トンと2000トン(10・5%)増。

ISSF会長にダーマヨー氏選出

ダーマヨー新会長

【米ニューオーリンズ＝谷藤真澄】国際ステンレスフォーラム(ISSF)ニューオーリンズ大会は16日、第17回年次総会を15日に開催し、新会長にフィリップ・ダーマヨー副会長(アペラム会長)を選出したと発表した。

会長の任期は2年で、欧米、アジアの企業トップが交代で務めてきている。ダーマヨー新会長は、金後植会長(POSCO副社長)からバトンを受けた。副会長は、ベルナルド・ベラスケス副会長(アセリノックスCEO)の留任と、徐永世氏(POSCO専務・ステンレス事業部門長)の選任を決めた。

事務局長はジョン・ロー氏が1月に就任し、昨年12月に退任したパスカル・ガスパード氏のあとを、すでに引き継いでいる。

(3面に関連記事)

きょうの紙面

電炉ダストから高純度亜鉛
キノテック・ソーラーエナジーは普通鋼の電炉ダストから品位99・99%の電気亜鉛の製造に成功した。(11面)

日本冶金、世界で高機能材拡販 3
中国4月粗鋼6565万トンと過去2番目水準　(2面)
三鋼販、「即蔵鉄」普及へ取り組み強化　(4面)
森定興商広島 売上高・加工量2割増へ　(5面)

6面　鉄鋼商況
7面　鉄鋼市中相場
8面　LME・NYC相場
9面　非鉄市中相場

外為TTS (三菱東京UFJ銀行)(15日10時)	
米ドル	103.17 ↓
ユーロ	133.06 ↑
ウォン (参考値)	9.39 ↑
元 (参考値)	16.94 ↓

LME相場 (現地15日セツル、ドル)	
銅	7095.5 ↓
アルミ	1800.5 ↓
ニッケル	14830.0 ↓
亜鉛	1792.5 ↓
錫	20600.0 ↓

鉄スクラップ総合価格 (円、10日調べ)	
H2	22,100
新断プレス	25,300

主要品種相場 (東京、ベースサイズ、円)	
異形棒鋼	60,000
H形鋼	70,000
黒ガス管	135,000
熱延鋼板	58,000
厚板	72,000

バルチック海運指数	
現地15日	861 ↓

WTI原油先物(中心限月)	
現地15日	94.30 ↑

イノクサム統合 シナジー2億ユーロ
オウトクンプのグローバル戦略
パルベント氏(米国会社社長)に聞く
一貫生産でシェア3割へ

オウトクンプは、ティッセンクルップのステンレス部門、イノクサムを統合し、設備集約によるコスト競争力の強化、グローバル展開による市場開拓などのシナジー追求に取り組んでいる。米州においては、イノクサムのカルバート工場を傘下に収めて、一貫生産体制を構築し、その強みを引き出し、2割程度のシェアを3割に引き上げる考えだ。オウトクンプの経営リーダーの一人で、米国会社社長を務めるカリ・パルベント氏に話を聞いた。

―2013年のステンレス市場環境から。

「アジアの需要増加、米国の回復によって、グローバルマーケットは成長を続けている。ただし欧州は減少基調が続き、国際的な供給過剰による輸入圧力もあって、厳しい環境にある。価格も需給バランスや原料事情で下げ圧力を受けている」

―オウトクンプは欧州の能力削減を決めているが、計画の前倒しはあるのか。

「イノクサムの独クレフェルドの製鋼工場は、計画通り13年末までに閉鎖する。同じく独ボーフムの製鋼工場も、予定通り16年末に操業を停止する」

―イノクサムの統合承認の条件となった、イタリアのテルニ工場の売却先に関する新しい情報は。

「欧州委員会の決定は、2カ月遅れて6月末になると聞いている」

―イノクサムの統合効果は。

「設備休止による生産効率アップ、デリバリー、原料調達、管理コストなどの面でシナジーを見込んでおり、トータルで2億ユーロの効果を16―17年に引き出せると見込んでいる。そのうち5000万ユーロについては、本年中に効果が出てくる」

―さて米州事業について聞きたい。まず新しい供給体制とその立ち上げ状況から。

「イノクサムのカルバート工場の年産能力は製鋼が90万トン、冷延が35万トンで、メキシコのメヒノックスの冷延が27万トン。熱延は、ティッセンクルップの普通鋼ミルを借りている。製鋼は12年11月に操業を開始し、立ち上げは順調。冷延は今年、20万トン程度の生産を見込み、来年のフル操業ペースへの引き上げを計画する。メヒノックスはホットコイルを欧州から供給していたが、カルバートからの供給を開始している」

―市場認識と販売戦略は。

「米州のステンレス市場規模は約330万トン、うちコイル製品が約220万トン。年率3―4%の成長が続くとみている。これまで欧州からの輸出と、メヒノックスからの販売に限られていたが、一貫生産体制を整えたことで、新しいステージに入る。収益性を重視しながら、品質の高さ、米州唯一の最大72インチの広幅ミルの優位性を生かし、家電、自動車、化学、エネルギー、建築を含めて幅広く市場を開拓していく」

―販売ターゲットは。

「米国、カナダ、メキシコのNAFTAにおける12年の販売量は約36万トンで、販売シェアは22%程度だったと推定している。現地一貫生産の強みを引き出し、伸びる市場におけるシェアを、4年内に30%程度まで引き上げたいと考えている」

―日本市場について。

「ステンレス製品は重要な顧客を持ち、フェロクロムを販売している。フェロクロムは12年に23万6000トンだった生産量を、今年は40万トンに引き上げる。さらに15年には50万トンに増やす計画だ」

(谷藤 真澄)

日刊産業新聞　13・5・17

Jサミット開幕
経済成長 新興国が牽引を
茂木経産相 アフリカ諸国と関係強化

アフリカの持続的な資源開発をテーマとした国際資源ビジネスサミット(Jサミット)が16日、東京・芝公園のザ・プリンスパークタワー東京で開幕した。冒頭あいさつに立った茂木敏充・経済産業大臣は、世界の経済成長には先進国の着実な成長に加えて、アフリカはじめ新興国がフロンティアとしてけん引する必要があると指摘。6月の第5回アフリカ開発会議(TICAD)に先駆け、資源大臣会合を含めた今回の会合を機に、アフリカ諸国との関係を強化するとともに、ビジネスの機会として活用するよう訴えた。

会合を機にアフリカ諸国とビジネスの機会として活用するよう訴える茂木・経済産業大臣

茂木大臣、南アフリカのスーザン・シャバング鉱物資源大臣、石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の河野博文理事長の歓迎の辞の後、テーマ別の講演会に入った。16、17の両日開く会議の初日は、白金族・ニッケル、マイナーメタルなどを取り上げ、2日目は銅・鉛・亜鉛や技術などがテーマになる。

初日のエネルギー・鉄鉱石の部では、モザンビークのエスペランサ・ビアス大臣が資源政策を語ったほか、新日鉄住金の藤原真一常務執行役員、伯ヴァーレのロジャー・ダウニー肥料・石炭担当役員、英リオ・ティントのダイヤモンド・鉱物資源部門チーフエクゼクティブらが、アフリカでの取り組みを紹介した。

Jサミットは経産省資源エネルギー庁、JOGMECが共催。18日の日アフリカ資源大臣会合とともに、アフリカの資源に関する初の国際会議になる。資源国の大臣や資源メジャー、新日鉄住金をはじめ日本企業などが80の講演を展開し、企業などが50以上の展示ブースを出しており、2000人以上が来場する見込み。

(2面・12面に関連記事)

新聞記事の複製許諾は本社IT事業局へご相談を
新聞記事は著作権法で保護されています。著作権者の許諾を得ていないコピー、パソコンへのデータ取り込みなどは違法となります。業務上、コピーや記事のクリッピングが必要な場合は、大阪本社IT事業局☎06(6443)8550にご相談下さい。

角田 善彦氏(つのだ・よしひこ＝三ノ橋鋼材社長)15日午前11時20分死去、60歳。通夜は20日午後6時、葬儀・告別式は21日午前11時半から、いずれも東京都台東区上野公園14―5の寛永寺輪王殿第一会場(☎03―3821―4433)で、角田家および三ノ橋鋼材の合同葬として行われる。喪主は妻の祐子(ゆうこ)さん。

弊社 代表取締役社長 角田善彦 儀
平成二十五年五月十五日水曜日急逝いたしました
ここに生前のご厚情に深謝し謹んでご通知申し上げます
なお通夜 葬儀告別式は角田家と三ノ橋鋼材株式会社の合同葬にて左記の通り仏式にて執り行います

記

一、通　夜　平成二十五年五月二〇日(月曜日)　午後六時～午後七時
一、葬儀告別式　五月二十一日(火曜日)　午前十一時半～午後一時
一、場　所　寛永寺 輪王殿 第一会場
東京都台東区上野公園十四―五
電話番号　〇三(三八二一)四四三三

誠に勝手ながら 故人の遺志によりご香典の儀は固くご辞退申し上げます

平成二十五年五月十七日

三ノ橋鋼材株式会社
代表取締役 喪主 角田祐子